

(専門分野Ⅱ)

授業科目	高齢者看護学方法論Ⅰ	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.加齢が生活に及ぼす影響について理解できる。 2.高齢者の健康・自立を支えるための基礎的援助を理解できる。 3.加齢に伴う高齢者の身体症状と看護について理解できる。 4.高齢者と社会システムについて理解できる。			時間数	
				30	
				学年	
				2	
				時期 第1学期	
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1	加齢の変化を体験	1. 高齢者模擬体験		演習	教員
2	基本動作と環境の援助	1. 基本動作 2. 日常生活動作の評価		講義	教員
3	転倒、廃用症候群の援助	1. 転倒のアセスメントと援助 2. 廃用症候群のアセスメントと援助		講義	教員
4	食生活の援助	1. 高齢者に特徴的な変調 2. 食生活のアセスメント 3. 食生活の支援		講義	教員
5	排泄の援助	1. 排尿・排便のアセスメント 2. 排泄の援助		講義	教員
6	清潔の援助	1. 高齢者に生じやすい清潔に関する変調 2. 清潔のアセスメント 3. 清潔の援助		講義	教員
7	生活リズムの援助 高齢者の性	1. 生活リズムの高齢者に特徴的な変調 2. 生活リズムのアセスメント 3. 生活リズムの援助		講義	教員
8	コミュニケーションとかわり方	1. 高齢者にみられるコミュニケーション上の特徴 2. アセスメント 3. 高齢者の状況に応じたコミュニケーション方法		講義	教員
9~12	加齢に伴う身体症状と看護	1. 発熱・痛み・痒痒・脱水 2. 嘔吐、浮腫、倦怠感・褥瘡		講義	教員
13	高齢者に多い事故への対応	1. 転倒・転落・熱傷・窒息・急変・救急時の対応・災害時の対応		講義	教員
14	高齢者と社会システム	1. 保健医療福祉施設及び居住施設における看護 2. 介護予防		講義	教員
15	評価	筆記試験 まとめ			
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 老年看護学 国民衛生の動向		